

次のうらやすを目指す街づくり ―街づくりを現場で学ぶ―

コーディネーター 阪本 一郎（うらやす市民大学副学長）

インストラクター 伊豆 正義／小林 裕／浜野 裕子

浦安市の3/4は計画的につくられてきた街であり、新町の開発もそう遠くないうちに完成することでしょう。では、次はどのようなうらやすを目指したらよいでしょうか。未解決の問題である元町の災害危険や、液状化で露呈した埋め立て地の脆弱さに引き続き取り組むことは当然のことです。中町の計画住宅地で顕著な地域ぐるみの高齢化や建物老朽化に対応した街づくりも必要です。良好な環境づくりの一方で、硬直し活力が低下した地区を新しい活動が生まれる場所に変えていくことも考えねばなりません。取り組むべき課題は、街のあちこちに見出すことができます。そして何より、問題を一つ一つ解決しながら、より良い未来の街を実現していくうらやすであることが、また、市民の力が活かされるうらやすであることが、そこに住む市民にとって大事なことではないでしょうか。この授業は、市民がうらやすの街づくりを考え、広い意味での担い手になることをサポートします。

街づくりは、現場で課題を見出し、現場で考えることが重要です。そこでこの授業では、街を見学し、行政のプロの話を聞くなどの機会をつくり、受講生たちが現場に触れながら、考え議論する場を提供します。講師・インストラクターは、都市計画を専門とする元大学教授と、浦安市の街づくりの中心で働いてきた元行政職員という異なる経歴の二名に加えて、現役の行政職員や、受講生OB・OGにも協力してもらいます。

回	日程	内容
	28年6月2日(木) 12:45～13:00	オリエンテーション
1 ・ 2	13:00～14:30 15:00～16:30	戸建住宅地の将来像を考える（1） うらやすの計画的に開発された戸建住宅地は、これまで優れた環境を維持してきました。しかし、その環境は徐々に変化しており、また居住者の高齢化にも直面しています。このような地区の状況を確認し、何が必要とされているかを考えます。まず市内の住宅地を見学した後に、グループで検討します。 講師 阪本 一郎（うらやす市民大学副学長）／醍醐 唯史（元都市整備部長）
3 ・ 4	28年6月16日(木) 13:00～14:30 15:00～16:30	戸建住宅地の将来像を考える（2） 前半では、優れた環境を維持させる地区計画等の制度を学びます。浦安市の地区計画の特色と制定経緯について、担当課職員と、住民の意見を取りまとめた経験者に話をしてもらいます。後半では、見学地区の予想される将来像を描き、どのような課題があるかを議論します。 講師 都市整備部都市計画課／阪本 一郎（うらやす市民大学副学長）／醍醐 唯史（元都市整備部長）
5	28年7月14日(木) 13:00～14:30	戸建住宅地の将来像を考える（3） 見学地区について、将来必要となる土地利用や機能が何であるかを検討します。その上で望ましい将来像を描き、街づくりの方向性を考えます。 講師 阪本 一郎（うらやす市民大学副学長）／醍醐 唯史（元都市整備部長）
6	15:00～16:30	集合住宅地の将来像を考える（1） うらやすは、集合住宅地の多い地域です。その中で、中町の集合住宅団地は、入居後40年近くが経過し、建物の経年変化や居住者の高齢化に対処しなければなりません。このまま推移するとどのような状況が生まれるかを検討します。 講師 阪本 一郎（うらやす市民大学副学長）／醍醐 唯史（元都市整備部長）
7 ・ 8	28年7月28日(木) 13:00～14:30 15:00～16:30	集合住宅地の将来像を考える（2） 集合住宅団地がこれからも活力を維持して行くためには何が必要でしょうか。若年者の入居を進めるためにはどのようなことを考えればよいでしょうか。新しい機能や施設なども含めて検討します。 講師 阪本 一郎（うらやす市民大学副学長）／醍醐 唯史（元都市整備部長）
9 ・ 10	28年9月15日(木) 13:00～14:30 15:00～16:30	東京の歴史的住宅地の見学 東京の戸建住宅地は、大正から昭和初期にかけていくつも計画的に開発されました。開発当初の環境良好で中高所得者が多く住んだ街は、その後どのように変化したでしょうか。また集合住宅地も、昭和30年代・40年代に数多く開発されました。開発当初人気の高かったこれら住宅地は、老朽化と高齢化の進行にどのように対応してきたでしょうか。現地を見学しながら考えます。 講師 阪本 一郎（うらやす市民大学副学長）／醍醐 唯史（元都市整備部長）
11 ・ 12	28年9月29日(木) 13:00～14:30 15:00～16:30	用途混在地の将来像を考える（1） 都市というものは、多かれ少なかれ用途が混在して出来上がっています。以前の都市計画では混在地域は否定的に見られていましたが、現在は用途混在を積極的に評価する方向にあります。元町は用途の混在した地域ですが、混在地域の課題は、いかにして良好な環境をつくるかです。元町を素材にして現地を見学し、将来の開発なども考慮しながら、この問題を考えます。 講師 阪本 一郎（うらやす市民大学副学長）／醍醐 唯史（元都市整備部長）
13 ・ 14	28年10月13日(木) 13:00～14:30 15:00～16:30	用途混在地区の将来像を考える（2） 前半では、元町の緑化を学びます。浦安市の緑の基本計画や各種緑化制度など、行政が取り組もうとしていることやその方法について、担当課職員に話をしてもらいます。後半では、子供が多いなどの地域特性を考慮しながら、地域にふさわしい緑化推進など環境改善を検討します。 講師 都市環境部みどり公園課／阪本 一郎（うらやす市民大学副学長）／醍醐 唯史（元都市整備部長）